

バスケの楽しさ広がれば

フェニックスが信愛会と寄贈 サインボールなど豊川の国府高へ



ボールを贈る水野社長と
灰田さん＝県立国府高校で

プロバスケットボール
Bリーグ「三遠ネオフェ
ニックス」は、オフィシ
ヤルパートナー「医療法
人信愛会」と共同で、豊
川市の県立国府高校バス
ケットボール部に「デジタ
ルタイマーや選手の直筆
サイン入りボールなどを
寄贈した。

チームのSDGs推進
プロジェクト「PHOE
NIX meet」の一
つ。ブースターやパート
ナー企業、自治体の架け
橋となり社会活動に取り
組む。信愛会と同校は近
隣同士。息子がバスケー
ブル部員だったという理事長の
大石明宣さんが大石医院
の院長時代、同校の校医
をしていた縁で寄贈を決
めた。

式では、チームの運営
会社「フェニックス」の
水野晃社長が選手の直筆
サイン入りボールを、信
愛会の大石理事長と大石
宗弘専務理事がデジタル
タイマーとテーブルを用
意。男子主将の灰田脩平
さん(2年)、女子主将
の坂田麗菜さん(同)に
手渡した。



バスケ交流会でドリブルを指導する岡田さん

水野社長は「バスケの
楽しさが広がればいい」
と話した。灰田さんは貴
重なボールを寄贈して
くれて、モチベーション
が上がります。ありがとご
ざいます」と笑顔を見せ
た。

小畑さんらと
部員の交流会も
式後、元女子日本代表
の小畑亜章子さん、アン
バスターの鹿毛誠一郎さ
んや岡田慎吾さんが部
員41人にバスケのパスや
シュートのことなどを指
導した。

【北川香暉】